

「鮫島美子(さめしま よしこ)賞」交付規定

第一章 総 則

(目 的)

第1条 本規定は関西医科大学医学部同窓会13回生(大阪女子高等医学専門学校昭和19年 卒業)鮫島美子殿が医療をもって社会に貢献している個人および団体を対象として その業績に役立てたいと寄贈された5000万円を基金として交付するために定めた規定である

(財 源)

第2条 本賞の財源としては基金と基金の果実をもってあてる

(交付対象・交付金)

第3条 医療功労とくに実地臨床に寄与した個人および団体を対象として、年間 個人の場合は1件100万円、団体の場合は1件200万円を交付する

第二章 交 付 手 続

(交付申込)

第4条 本賞の交付を希望する者は 一般財団法人加多乃会所定の申込書に必要事項を記入し毎年3月31日迄に一般財団法人加多乃会事務室に提出する ただし推薦者2名の推薦を必要とする

第三章 審 査

(審査員の構成)

第5条 審査員は一般財団法人加多乃会代表理事 加多乃会理事会で定めた鮫島美子賞審査員1名 学術担当理事7名 医学部同窓会会長及び関西医科大学学長 以上11名の審査員をもって構成する

(審査会の開催)

第6条 毎年4月に審査会を開催し おのおの応募課題について審査を行う

(審査会の成立)

第7条 審査会は審査員の3分の2以上の出席をもって成立する

(審査会の議長)

第8条 議長は審査会に出席した審査員の過半数の決定により定める

(審査会の議決)

第9条 議決は出席審査員の投票により決定する ただしやむをえない事情により欠席する委員はその欠席理由を明らかにし 郵送による投票をすることができる

第四章 交付後の管理

(交付金の使途ならびに研究成果の報告)

第10条 本賞の交付を受けた者は、その概要を原則として交付年度の一般財団法人加多乃会が指定する会席上にて報告する。所定の実績報告書は受賞後2カ月以内に一般財団法人加多乃会事務室に提出しなければならない。

(交付金の返還)

第11条 前条の義務を怠った時は交付金を返還しなければならない。

第五章 その他

(本規定の変更)

第12条 本規定の変更は理事会で理事総数の3分の2以上の承認を得なければならない。

付 則 本規定は令和4年1月15日から施行する
一部改正 令和 4年12月 3日